

科目名		建築実務			
担当教員		廣田 邦昭		実務授業の有無	有
対象学科	建築大工科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	実習	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	3DソフトSketchUpを使い、建物を立体的に考える力を身につける。				
学習目標 (到達目標)	やさしく学ぶSketchUpテキストを使い、SketchUpの基本操作を学び、jw_cadで書いた建築データをSketchUpで3Dデータにし、建築モデルの1シーンを作り上げる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしく学ぶSketchUp ・廣田作成 jw_cad 建築データ 				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	SketchUpをインストール			SketchUpの紹介及びインストールをします。	
2	SketchUpの基本操作			簡単な建物や家具のモデルを作成しながら基本操作を学びます。	
3	建築のモデルを作成			1年次に作成した jw_cad図面データから建築のモデルを作成。	
4	SketchUpでの表現方法を学ぶ			建築モデルの1シーンを演出する為の表現方法を学びます。	
5					
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
作品評価	授業態度	締切厳守		2次元のCADデータが3Dソフトにより、3次元となり、デザイン、設計が第三者に理解しやすく伝わる事を学んでください。	
70 %	20 %	10 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		店舗設計デザイン事務所16年勤務を経て現在個人事務所 実務合計43年			